



馬公要港部戰時日誌

自大正三年十一月一日  
至全 有音

0848

十月一日(木曜日)晴、気温七九、湿度九九、風向北東、風力七

海軍大臣電

十月一日防備部隊編制用し在野要領ノ通リ改定セラル

一、東京海軍監署、横濱海軍港、佐世保海軍港、鎮海海軍港、基隆港、旅

順港並ニ大連湾ノ防備ヲ撤セラル

二、特設砲艦ノ配備ヲ止メラル

三、特設艦艇ヲ配備スル地帯中、打狗ヲ削リ基隆港ヲ加ヘラル

四、基隆防備隊ヲ廢止

海軍大臣電

本島防務、順丸ノ役務所管所屬ヲ解ク

本島防務、島丸ノ役務所管所屬ヲ解ク

十月一日(金曜)晴、氣温七八、露点九九、風向北東、風力六

航海

十月二日(土曜)晴、氣温七九、露点三〇、風向北東、風力三

宮島丸佐世保に向出港

十月三日(日曜)晴、氣温八〇、露点三〇、風向北東、風力四

航海

十月五日(月曜)晴、氣温八二、露点三九、風向北東、風力三

記事ナシ

十月六日(火曜日) 晴、気温 $23.0^{\circ}$ 、湿度 $75.0\%$ 、風向北東、風力 $1.3$

旭丸佐保着

十月七日(水曜日) 晴、気温 $23.0^{\circ}$ 、湿度 $75.0\%$ 、風向北、風力 $1.1$

司令官某方面に於て防禦施設物工事、警備隊の巡視ス

某十連隊訓練場出港、即日級港

十月八日(木曜日) 晴、気温 $23.0^{\circ}$ 、湿度 $75.0\%$ 、風向不定、風力 $1.1$

0851

傳世保羅守府ヨリノ依頼ニ依リ旭在監務校(將)ニ在ルリ訓令ス  
旭在ノ傳世保羅守府ヨリノ依頼ニ依リ旭在監務校(將)ニ在ルリ訓令ス  
事港ニ傳世保羅守府ヨリノ令望橋行ノ修理材料ヲ運搬ス(一)

十月九日(金曜日)晴、氣温七ノ、氣圧三〇・六、風向北東、風力四―五  
司令官某ニ方面ニ於テハ防禦施設物ニ事、實況ヲ巡視ス  
須磨第三艦隊ト協同ノ任務トシテ汕頭廈門間ノ航路警戒ニ  
廈門港外ノ監視ニ任ス多ク本日出港

十月十日(土曜日)晴、氣温七ノ、氣圧三〇・四、風向北東、風力四―五  
須磨汕頭沖着今日廈門港外ニ向リ

0852

旭丸は世保院西表望樓ヲ經テ馬公ニ向リ

臺灣恒春阿緜間ニ諸國ノ暴動アリ警備軍兵望樓ハ之

ニ對シ警備兵ヲナス

海軍大臣ノ軍令部長先要港各方面ニ巡ルル防衛軍艦運物ノ工率概

算表圖ヲ報告ヲ提出シ伏見長官ニモ之ヲ通報ス

十月十日(日曜)晴、氣温七八、湿度二九九、風白北東、風力四

續々厦門港外着

十月十日(日曜)晴、氣温七八、湿度二九九、風白北東、風力四

續々馬公ニ向テ厦門港外着

0853

十月三日(火曜日) 晴、氣温七九、氣圧三〇・三、風向北北東、雲方二

横地某十駆逐隊司令ニ訓令

一、其隊ハ明十四日便宜ニ港臺灣ノ西岸南部ヲ警戒巡航ニ來ニ

十日迄ニ返港スルコト

二、臺灣ノ南部、枋山、楓港附近ニ蕃人蜂起ノ情報アリ、地方官憲ノ

請亦アルトキ、海上ヨリ應援スルコト但シ危険切迫ノ場合ニ限リ陸上兵

力ヲ派遣スルコトヲ得

大正三年十月十三日

司令官

須磨入港

海

0854

十月十四日(水曜)晴、氣温八三、氣圧三〇・六、風向北、風力一

日全官其三方面ニ於テハ防衛施設物工事ノ實況ヲ巡視ス

第十師団隊其邊河内西岸南郊警戒ノ多ク出港、枋索着

十月十五日(木曜)晴、氣温八三、氣圧三〇・五、風向不定、風力〇一

日全官日手望樓ヲ巡視ス

汕頭領事ヨリ在港独逸商船四隻出港準備ヲ整ヘ出帆ノ嫌疑アリト通報アリモ遂ニ出港セス

第十師団隊枋索アリ大板塔ニ入港

旭丸入港





旭丸積込を果し向ヶ出港

第十駆逐隊の積込の方面に蕃情尚大陰悪なり第十駆逐隊海日印に在りて  
警戒に任じ不知火の打狗ノ港糧食ヲ補給シ向ヶ出港海日方面ニ到リ  
警戒備に任ス

海軍大臣宛報告

「臺灣南部極港附近蕃人蜂起危険ノ報アリ第十駆逐隊ニ地方官憲  
ノ請亦アル應援スルキ旨命ニ置ケリ」

十月十六日(曜日) 晴、氣温過入四、風速三、六、風向北、風力一

第十駆逐隊海日方面ヨリ打狗ニ入港

0857

十月十九日(月曜)晴、気温、湿度、風向不定、風力一

草野艇隊并狗ヨリ入港

旭七鶴並皇皇ヨリ入港

十月二十日(火曜)晴、気温、湿度、風力不定、風力一

沁頭河西領事電

「昨日支那の外人一名某港に港外に於て水

雷敷殺ノ為ニ下ノ嫌疑アリ支那官憲ニ警告アリ」

右情報ニ接シテ港口ノ警戒ヲ一層嚴ニスルヲ防備隊司令

ニ命ス

0858

十月二十日(水曜日)曇、気温七八、湿度三〇、二、風向北東、風力五、六  
旭丸佐世保ニ向テ出港

十月二十一日(木曜日)曇、気温七九、湿度三〇、二、風向北東、風力四  
定幸ナシ

十月二十二日(金曜日)晴、気温八〇、湿度三〇、二、風向北東、風力二  
定幸ナシ

十月二十三日(土曜日)晴、気温八〇、湿度三〇、二、風向北東、風力二

0859

清 年

馬公防備隊、恒例演習ヲ行フ、二十四日兩日ヲ以テ施行ス

十月二十五日(日)曜(晴)海風、午後三時、四時、風力ニ

記事ナシ

十月二十七日(日)曜(晴)海風、午後三時、四時、風力ニ

白石須磨、船長ノ刻令

其船ハ明子日便出港、臺灣東岸ヲ經テ基隆ニ到リ、果シ

月二日迄帰港ス

基隆陸軍中隊、機關銃隊ヲ連テ商船ニ乗リ、要人ノ臨検檢

索ヲ行フ

0860

大正三年十月二十六日

司令官

旭丸佐世保着

十月二十日(火曜日) 晴、氣温八、三度至三〇。七、風向北西、風力〇―

須磨出港、基隆、南岸より東岸ヲ經テ基隆ニ向フ

十月二十日(水曜日) 晴、氣温八、三度至三〇。七、風向南、風力

記事一七

十月十九日(木曜日) 晴、氣温八、三度至三〇。七、風向南、風力

0861

須磨甘奉陸着

十月三日(金曜日) 曇雨、長瀬海軍工廠に艦隊、風力一  
旭丸長崎港ヲ經テ馬場泊テ伏見係免

十月三日(土曜日) 曇雨、長瀬海軍工廠に艦隊、風力三  
軍令部長電

大海機密第五一號

一、先般来汕頭ニ在リ獨國人ノ水雷準備ニ関スル風評アリ本月廿六日  
地ノ英國官憲ヨリ得ル情報ニキリ獨國人ノ百五十個ノ水雷ヲ  
ヤンニンニテ上海ヨリ密輸スル説、汕頭ニ到リ着クセシ疑ヒアガセ

トシフ

ニ右情報ノ直方偽ヲ探知スル者メ松本海軍少佐ヲ同地ニ派遣シテ領事ト  
協力シテ調査ニ從事セシメトス

三貴官ノ便宜諸般ヨリテ全地方面ヲ巡邏セシメ相當ノ警戒ヲ

加ハシメヨトテ望ム

0863



